

A photograph of a river flowing through a dense, lush green forest. The water is a vibrant green color, and the surrounding trees and foliage are also in various shades of green. The scene is peaceful and natural.

2025年5月4日
5月第一主日礼拝式／聖餐式

182 あがめます全能の主

あがめます 全能(ぜんのう)の主

あなただけを

平和の主 あなたをしたいもとめる

心から ほめ歌ささげ

あがめます全能(ぜんのう)の主

あなただけを

19 ホザナ

1. ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
主よあなたの み名あがめます
さんびにみたされて ホザナたからかに
2. ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ほめたたえよう ころみたされ
さんびにみちあふれ ホザナ主のみ名を

新聖歌37番 「主よいのちの言葉を」

- 1 主よ いのちの ことばを
与えたまえ わが身に
われは求む ひたすら
主より賜(たま)う 御糧(みかて)を
- 2 ガリラヤにて 御糧(みかて)を
分けたまいし わが主よ
今も活(い)ける ことばを
与えたまえ 豊かに

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌282番 「見ゆるところによらず」

1 見ゆるところによらずして 信仰によりて歩むべし
何をも見ず また聞かずとも 神のみ約束に立ち

* 歩めよ信仰により 歩め歩め 疑(うたが)わで
歩めよ信仰により 見ゆるところにはよらで

2 見ゆるところはいかなるも
われ早(は)や得(え)たりと信じつつ
疑うことなく歩みなば 必ずそのごとくならん 【*】

3 おのが聖(きよ)きをもて誓(ちこ)う
父なる神はまことなり そのみ言葉を信ずる者に
なしあたわぬことあらじ 【*】 アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン